

小学生用 ライフプランニング学習副読本「考えようふるさと秋田とわたしの未来」

活用状況調査集計結果（令和6年度）

調査対象：県内小学校 173校（国立大学法人立：1校、市町村立：172校）

県内義務教育学校・前期課程 3校（市町立：3校）

※分校を含む。

※義務教育学校については、便宜上、おおむね前期課程における小学生用副読本の活用状況をこの票に、おおむね後期課程における中学生用副読本の活用状況を中学生用の集計結果の票に合算して集計しています。

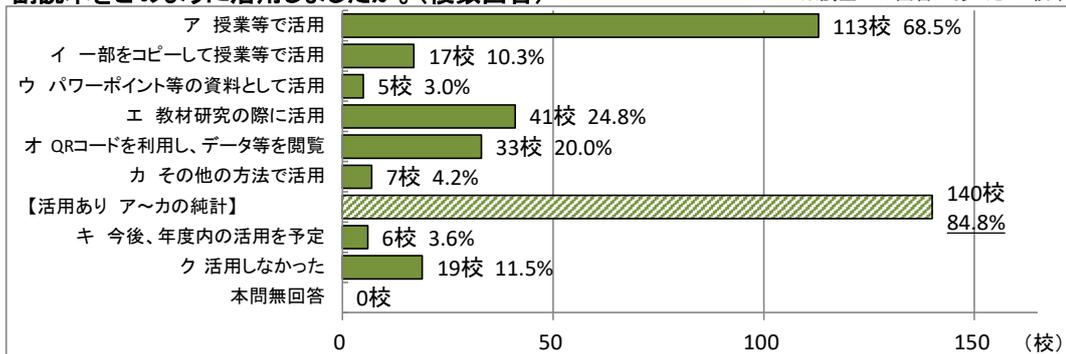
そのため、義務教育学校3校分が小学生用・中学生用の集計結果にそれぞれ計上されています。

◎回答率 93.8%（回答165校／対象176校）

◎活用率 84.8%（活用140校／回答165校）（ほか年度内活用予定6校）

問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※調査への回答があった165校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

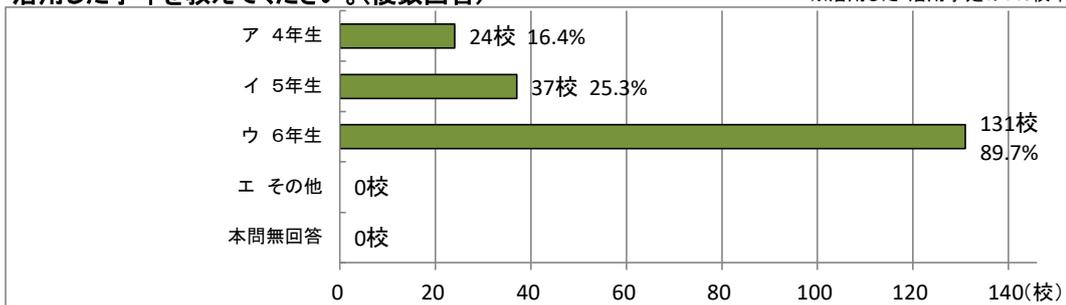
- ・全体での読み合わせで活用
- ・家庭学習で活用
- ・（学校で紹介後、週末に、冬休みに）持ち帰らせ、個々に読ませた。
- ・リンクを共有してデータを閲覧した。

活用状況「ク 活用しなかった」の主な理由

- ・活用する時間の余裕がなかった。
- ・活用に適した場面がなかった、設定できなかった。
- ・県教委作成のキャリアノート、他の資料・教材、継続して使用している他の資料を活用した。
- ・複式学級での学習が多く、年間計画に適切に位置付けて活用することが難しかった。

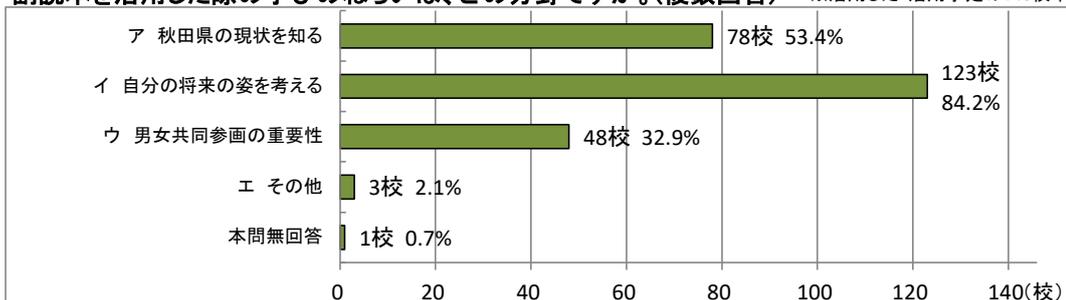
問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

※活用した・活用予定の146校中



問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、どの分野ですか。（複数回答）

※活用した・活用予定の146校中



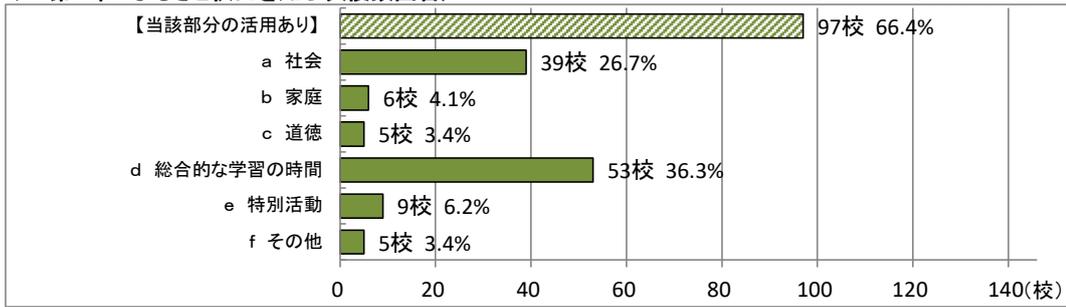
学びのねらいの分野「エ その他」の主な回答

- ・社会や家族、友達とのかかわり方を考える。
- ・今の自分自身を見つめ直す。

問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ふるさと秋田を知ろう(複数回答)

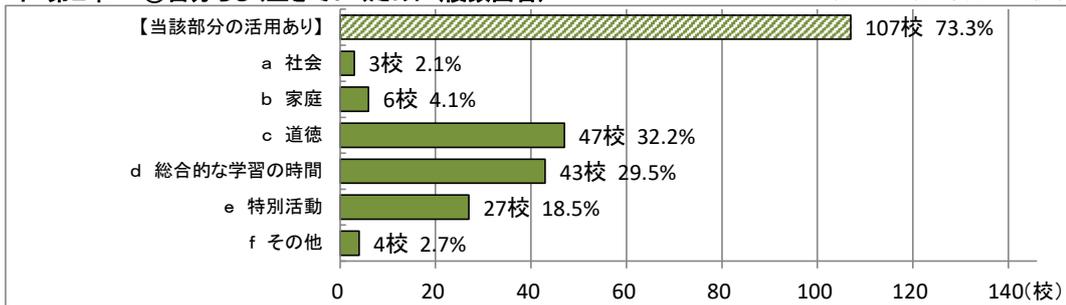
※活用した・活用予定の146校中



活用場面「f その他」の主な回答
・家庭学習

イ 第2章 ①自分らしく生きていくために(複数回答)

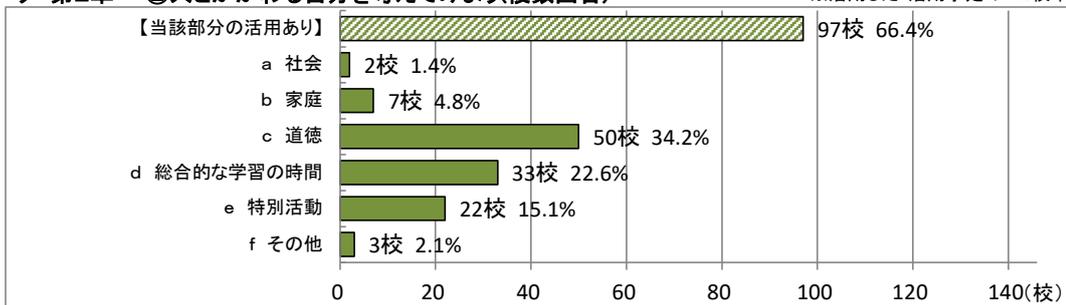
※活用した・活用予定の146校中



活用場面「f その他」の主な回答
・家庭学習
・個々に読ませることとした。

ウ 第2章 ②人とかかわる自分を考えてみよう(複数回答)

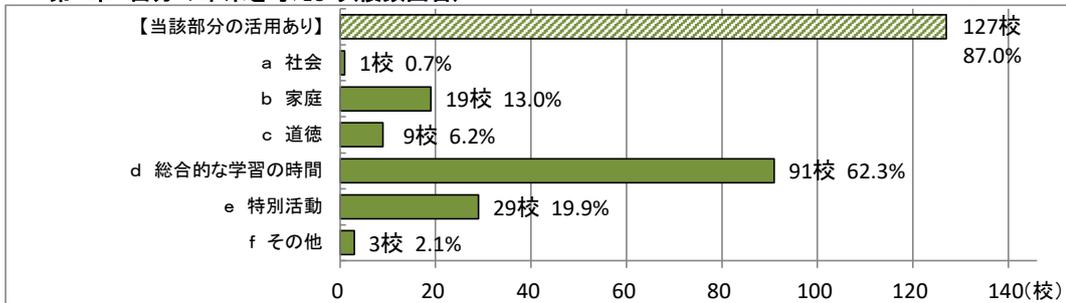
※活用した・活用予定の146校中



活用場面「f その他」の主な回答
・個々に読ませることとした。

エ 第3章 自分の未来を考えよう(複数回答)

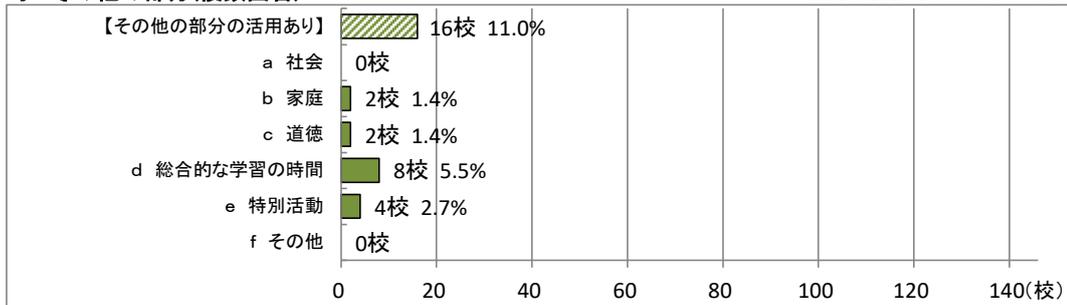
※活用した・活用予定の146校中



活用場面「f その他」の主な回答は、問4のウと同様

オ その他の部分(複数回答)

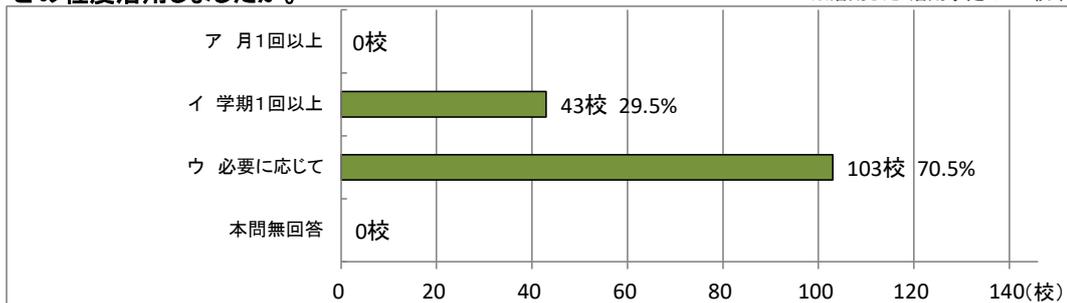
※活用した・活用予定の146校中



活用した「その他の部分」名の回答なし。
活用場面「f その他」の回答なし。

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した・活用予定の146校中



「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答40校中(回数無回答3校を除外)

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度	12校	9校
一学期当たり2回程度	14校	0校
一学期当たり3回程度・それ以上	4校	1校

「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答97校中(回数無回答6校を除外)

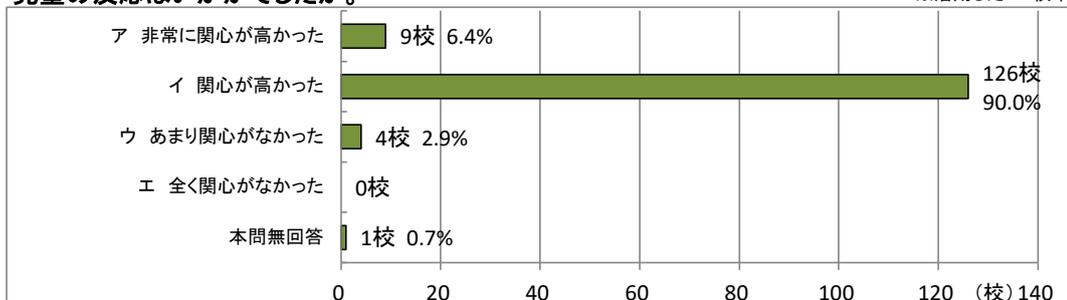
活用頻度	校数
年間1回程度	23校
年間2回程度	32校
年間3回程度	27校
年間4回程度	7校
年間5回程度・それ以上	8校

「ウ 必要に応じて」活用した学校での活用機会等についての主な回答

- ・社会、家庭の関連単元の学習時に活用
- ・道徳で友情・信頼、多様性、差別・偏見などの学習時に活用
- ・総合的な学習の時間、特別活動でふるさと教育や地域課題をとらえる場面で活用
- ・総合的な学習の時間でのキャリア教育の一環として、生き方、自分の良さ、なりたい自分、就きたい職業等について考える場面で活用
- ・学級活動で相手との関わり方の学習時に活用

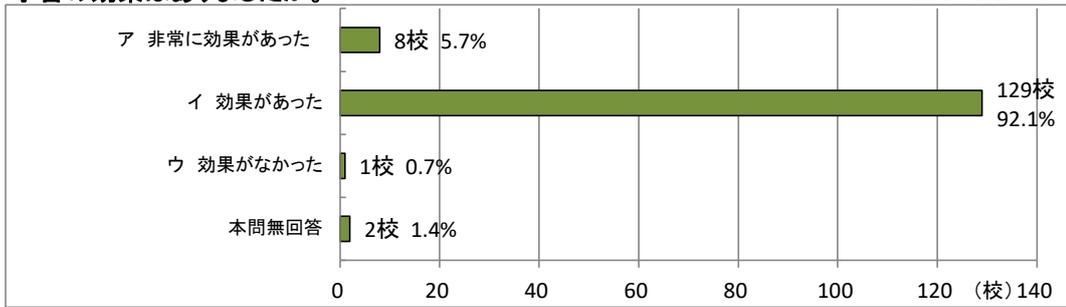
問6 児童の反応はいかがでしたか。

※活用した140校中



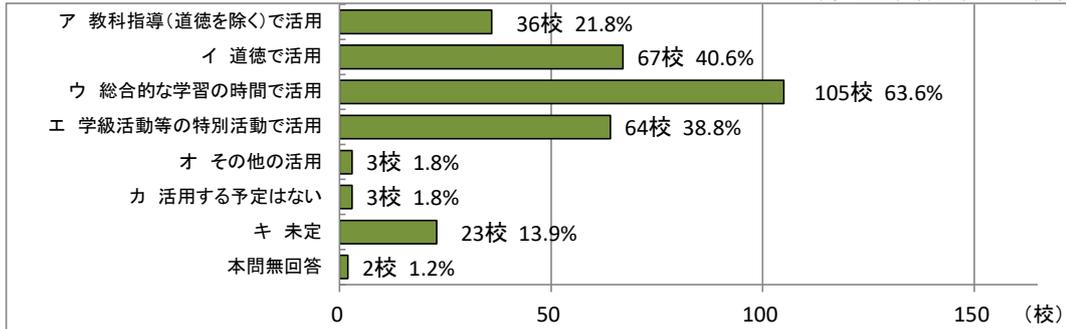
問7 学習の効果はありましたか。

※活用した140校中



問8 令和7年度は、副読本をどのように活用する予定(活用したい)ですか。(複数回答)

※調査への回答があった165校中



活用方法「オ その他の活用」の主な回答

- ・家庭科、キャリア教育などで活用
- ・総合的な学習の時間の教材研究資料として活用

問9 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問9 副読本の内容等についての感想、意見等(小学校・R6)」を参照

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R6）

主に副読本の内容や形態に関する感想、意見等
章立てが活動内容と合致していてよい。
充実した内容でよいと思います。
秋田県の特徴が分かりやすくまとめられていて、参考になった。
具体的なデータが載っていたので、子どもたちが秋田県の現状を知って、未来の自分を考えるのに参考になりました。
第1章の「秋田県の全国ベスト3は何か」で、献血率が全国第1位だということを知り、子どもたちは、豊かな自然以外の面から秋田のよさを知りたいという思いをもつことができました。
第3章の「未来の姿をえがいてみましょう」は、図画工作科の単元と共通しているところがあり、関連付けて学習を進めることができました。
総合的な学習の時間のテーマに関わっている内容だったので、活用した。子どもたちにとって分かりやすい文章や資料で、使いやすかった。
分かりやすく構成されていてありがたいです。
たいへん見やすく、分かりやすい内容でした。来年度は、さらに有効な活用の仕方を考えていきたいと思います。
とても見やすく、QRコードを読み取っての資料も豊富でよいと思いました。QRコードの資料の中に、将来の仕事について、いろいろな仕事の紹介やそれに従事している人の感想等についてまとめた資料があれば、もっと使いやすいものになるのではないかと思います。
ワークシートが役立ちました。授業に使えるのがありがたいです。
1つの章の内容を1単位時間で取り組むと内容的にちょうどよかった。 2章や3章は、本校の6年生の総合的な学習の時間に計画された学習内容と重なる部分が多く、活用しやすかった。
児童一人一人に渡るものなので、相談窓口の紹介もありよかった。 自分のことを見つめるきっかけとなる内容になっていたと思います。
・内容が簡潔に整理されていて、分かりやすかった。 ・図や表なども効果的だった。
ワークシートの内容が、様々な職業について考えらる内容だった。
資料が見やすく、またギガ端末の活用で資料の検索もできるのでいいと思いました。
第1章で、人口減少対策として、県が取り組んでいることを紹介してもらうことで、将来、秋田に貢献しようとする子どもが育つのではないかと考える。
内容が分かりやすかった。活用に応じて、今後も活用していきたい。
秋田県のアピールがされてありよい。学習シート等も工夫されている。
今回、6年生の社会科の授業で使わせていただきましたが、資料として使うには、少し物足りなさを感じました。高校生向けには、産業も取り上げていたが、「中学年（3～4年生）」・「高学年（5～6年）」と2つに分けて、内容を濃くしていただくと、活用しやすくなると感じました。
第1章「ふるさと秋田を知ろう」については、秋田県の魅力をもっとアピールしてもよいのではないかと思います。内容は小学生にも分かりやすく、活用しやすくと感じました。
プランニングシートみたいな箇所もあっていいと思う。
秋田県に関する写真やグラフを多用し、児童の考えをより引き出せる工夫をしていた。また社会科や道徳と関連付けて、指導に役立てられるため効果的であった。
分かりやすい内容で、活用しやすかったです。
児童は、秋田県の出生数、人口の減少についての資料に一番関心をもって読んでおり、活用してよかったと感じた。
複数の視点で「ふるさと秋田」や自分の未来について考えることができる内容であり、児童の実態に合い、興味関心を高める内容と思いました。各教科領域のねらいや学習内容と関連付けながら、効果的な活用について研修していくことが必要であると考えました。
様々な資料が掲載されており、児童が興味をもって読んでいました。
内容が精選されており、短時間で効果的な活用をすることができた。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R6）

(続き) 主に副読本の内容や形態に関する感想、意見等
ワークシート等があることで、取り組みやすかったです。もともとある指導内容に合わせて指導するもの以外は、時数を確保して指導することになるので、モジュール的に扱える内容であると活用しやすいと思います。
多様性について理解を深め、様々な生き方があることを副読本で分かりやすく学習することができた。
内容については大変素晴らしいと思います。今後活用できるように、次年度の年間指導計画づくりを進めたいと思います。
秋田県の現状を理解したうえで、自分の将来について考えることができるので、活用しやすいと思います。
副読本の「ふるさと秋田」の内容は、秋田県の概要が分かりやすく、興味をもてる内容でコンパクトにまとめられていていいと思います。その他では、教材として、道徳や家庭科、学活と合わせて活用できると考えています。ピックアップして、授業に取り入れていければと思います。
秋田のよさと課題を知り、これからのふるさと秋田を考えることができる内容となっていると思います。キャリア教育や道徳に繋がる部分も大きいので、教科横断的に使っていくのがよいのではないかと考えます。
途中でワークがあったので、自分事として考えるきっかけとなりました。ワークの内容も、児童の実態に近い内容だったので、児童は迷いながらも一生懸命考えていた姿が見られました。
キャリア教育、道徳、生徒指導等に有効な副読本だと思いました。様々な学習活動に活用させていただいております。QRコードで資料や相談窓口につながっていることも有効だと感じました。
ワークシートが、とても使いやすかった。そのまま使えて、効果的だった。
ワークシートのデータをダウンロードでき、さらに授業のねらいや児童の実態に応じて編集することができるのがよかったです。
いろいろなワークシートがあり、目的に応じて使えるので活用しやすいです。
前年度と同様に、QRコードがあり、児童が活用しやすかったです。
資料をダウンロードすることができるので、活用しやすかったです。
シートの形式が参考になった。
<ul style="list-style-type: none"> ・直接書き込めるスペースがあるといい。 ・QRコードは、子ども向けサイトに入れるものもあればいい。画像や動画でより詳しくパンフレットの内容を見ることができれば、子どもたちが興味をもちやすい。
必要なものを取捨選択しながら使用できるように、データでほしい。
QRコードで外部の資料やワークシートにリンクしてくれれば更に良いと思う。
色や文字、資料など見やすかったです。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R6）

主に副読本の活用や配付に関する感想、意見等
どの学年でも活用できるような内容ではありませんが、学年間で副読本を共用するのも難しく、すべての内容は活用しづらいと感じました。
第1章を参照し、総合的な学習の時間において、ふるさと男鹿や秋田の特色やよさ、または課題について考えた。地域の現状と課題に対する自分の考えや解決のアイデアについてまとめ、ふるさとの未来について自分事として考えることができた。
第2章を参照し、「いいねカード」の実践を継続した。友達のよさに気付くことができるようになり、よさを認め合う温かい雰囲気生まれた。
第3章の「未来の姿」の内容は、小学生には高度すぎるように思われたので、うまく活用することが出来なかった。
相手を思いやる気持ちを育むことは、本校でも大きな課題の一つです。相手の話に耳を傾け、気持ちを受け止めることからはじめ、相手の思いをくみ取ったコミュニケーション能力を身に付けさせたいと考えています。本書にはソーシャルスキルトレーニング的な要素も含まれており、子どもたちには「言葉を選ぶ」という視点にも気付かせることができ、有意義に活用できました。
総合的な学習の時間に、将来の自分自身の姿について考える学習活動を行う中で活用した。テーマごとにじっくりと授業を実践することは時数的に難しいが、子どもたちは自分の学習テーマにしたがって必要な内容を活用していた。各種データに興味をもっている様子が見られた。特にベスト3の内容について、もう少し紹介があってもよいのではないかと感じた。
授業に活用でき、子どもにとって分かりやすい内容であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと教育や男女平等について考える機会があることで、子どもたちの中にもふるさとを大切にしたい心や、ジェンダー平等の意識が広がっているように思います。 ・働き方改革の視点からも、アンケートはなくてもよいのではないかと感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁には使用できなかったが、読書タイムや授業の合間に使用することができた。 ・児童の将来の生き方について、ヒントとなる文章や写真があり役立った。
キャリアノートと内容が重なる点もあるので、うまく活用していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・社会科、家庭科の授業で秋田県の現状をつかんだり、将来の自分について考えたりする場面で活用しました。 ・イラストややさしい文章で子どもたちにも分かりやすく、とても参考になりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートがあって活用しやすい。 ・「つながりマップ」をうまく活用することができない。活用例があればありがたい。 ・「将来の生き方を考える」のワークシートがあればよい。
秋田の伝統行事や食べ物を楽しみながら、子ども達は見ていました。秋田の人口が減っていることについて、驚いている子ども達も多く、社会科の資料として触れる程度ではあったが取り上げました。自分の未来について考える内容では、キャリアノートと合わせて使わせていただいた。将来の夢について、考えられない子どもが多いと感じるので、夢について時間を取るようにしたいです。
いろいろな教科・領域で使えるような資料がたくさんあった。ピンポイントで使うには便利だった。冊子だけでなくデータで送ってもらえると使い勝手が増えそうだという意見を職員からいただいた。
総合的な学習の時間や道徳、特活と関連できそうな内容であるが、本校はこれまで蓄積された資料や、外部人材より得られる情報で学習活動を展開している。様々な関係機関より複数の副読本が配布されるが、資料や情報を求める人がアクセスできるデータベースとしてまとめてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・活用しやすい情報量だった。（小学校6年生にとって） ・秋田県の現状を把握したり、子どもたちに自分のライフプランを考えさせるために使いやすかった。もう少し、サイトの見付けやすさ、宣伝等があるとよいと思う。
効果のあった使用例があれば、紹介してほしい。
第2章はなかなか活用できなかったが、ワーク3、4は道徳でも活用できると思った。
将来の自分の姿を絵に描いたことで、未来の自分の姿を具体的に想像し、卒業までの学校生活や中学校での生活に対する意欲を高めることができた。
六年生の「総合的な学習の時間」に、まとめの活動をする際、資料を活用しました。ふるさと秋田のよさや自分の生き方について深く考え、学ぶことができました。
地域の基本的な知識を思い出したり、自分について考えたりするきっかけになりました。秋田のことや自分の未来を考える際、とても参考になる副読本だなと感じました。来年度、ぜひ授業で活用したいと思いました。
総合的な学習の時間に、自分の生き方や将来について考えるときに活用する予定です。また、秋田県のことについても詳しく書かれていたので、他学年でも活用したいと思いました。
様々なところから、副読本や資料が学校に届くため、十分に活用できていないのが実情です。そのため、子どもたちに家に持ち帰らせ、読んでみるよう促すことしかできませんでした。
総合的な学習の時間「秋田のよさを見つけよう」、「なりたい自分、生きたい人生」の単元で、活用しました。自分の課題解決のために学習の見通しを立てたり、調べたりする上で効果があったと思います。
来年度の活用は未定だが、学習のねらいに即して副読本を効果的に活用していきたい。
副読本を通して、多様性や自分の将来について考えることができました。子どもたちもじっくりとながめていたので、興味をもったのだと思います。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R6）

（続き）主に副読本の活用や配付に関する感想、意見等
<p>本学年は3月に卒業なので、子どもたちに渡す予定です。 P9の「わたしのやってみたい仕事のランキングシート」を使いました。とても喜んで取り組んでいました。</p>
<p>さまざまな副読本が配布されており、今年度は活用できなかった。 来年度は、内容を確認し、年間指導計画と照らし合わせ、活用時期を考えたい。</p>
<p>認知不足で申し訳なく思っております。次の機会がありましたら、ぜひ活用したいと思います。</p>
<p>大変よい副読本ではあります、教育課程内で活用となると、なかなか難しいと感じています。教科書や資料集の指導でいっぱいです。</p>
<p>適切な資料をなかなか見つけられずにいたので、とても有効な資料でした。</p>
<p>秋田を知り、肯定的に考えることができました。 また、自分の将来の姿を考えていく学習に使用することができ、とてもありがたかったです。</p>
<p>総合的な学習の時間に、「将来の自分」について考える単元があり、内容がその単元に合っているため効果的に使用することができました。</p>
<p>キャリアノート等と関連付け、今後の自分や未来の郷土のあるべき姿を考えることができたと感じます。</p>
<p>秋田県の魅力や課題について話し合うきっかけになりました。 QRコードもあることで、パンフレットを持ち帰ってからの活用場面も期待できると感じました。</p>
<p>来年度も有効に活用したいと考えています。</p>
<p>副読本を十分に活用できなかったことを残念に思います。今後は、副読本を最大限に活用できるよう、年度当初の学習計画と合わせて考えていきたいと思います。</p>
<p>秋田県の現状や課題をつかむことができました。</p>
<p>機会をとらえて、臨機応変に活用したい。 「進路」を考える視点を子どもたちにもたせるように計画していきたい。</p>
<p>相手との関わり方や、自分の将来のことを考えるきっかけになった。 総合的な学習の時間だけでなく、国語や道徳などでも活用できそうだと感じた。</p>
<p>子どもたちの考える一つの道しるべになりました。</p>
<p>4年生の社会科の学習で、「郷土の伝統・文化と先人たち」、「特色ある地域と人々のくらし」という単元がありません。私たちが住んでいる秋田県について知識を得るよい資料となっています。</p>
<p>ふるさと秋田のことや自分や人との関わりについて、道徳や総合的な時間に活用させていただいた。</p>
<p>秋田県の現状を踏まえた内容であったため、子どもたちは興味をもって資料を見ていた。普段、なかなか自分自身のことについては、振り返る機会がなかったが、この資料のおかげで、自分のよいところや将来の夢などについて見つけ直すきっかけとなった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年度末ではなく、年度初めに届けていただいた方が、確実に児童に配付し、活用できると思いました。（年度末は配付物が多く、慌ただしいため、うまく引継ができない心配があるため） ・届けていただく文書に、調査日程のことも記載していただけると、年度末、スムーズに調査報告をしやすかったです。